

警察公論第 78 巻第 10 号付録「SA2024」訂正とお詫び

本書の下記の箇所に誤りがありました。以下のとおり訂正し、深くお詫びいたします。

91 頁 刑法 15【未遂】	
● プラス解説の解説文中に誤植	
誤	3 枝文は 傷害 未遂については……
正	3 枝文は 障害 未遂については……

110 頁 刑法 29【同時傷害の特例】	
● プラス解説の解説文中に誤植	
誤	5 ……判例は、共謀を欠く場合との均衡等を理由に、本特 定 の適用を肯定する。
正	5 ……判例は、共謀を欠く場合との均衡等を理由に、本特 例 の適用を肯定する。

126 頁 刑法 42【事後強盗罪】	
● プラス解説中の解説文に誤り	
誤	5 窃盗の現場から A により……窃盗罪が成立する （最決昭 34.3.23）。
正	5 一般人により現行犯逮捕され、警察官に引き渡されるまでの間、被逮捕状態を脱するため逮捕者に暴行を加えた場合は、刑法 238 条における逮捕を免れるための 暴行に当たる （最決昭 34.3.23）。

127 頁 ワンポイント教養 刑法 42【事後強盗罪】	
● 説明文中に誤植	
誤	2 ……暴行・脅迫は、窃盗の機会の継続中に行わなければ <u>なりません窃盗と暴行</u> の間に密接な関連性……
正	2 ……暴行・脅迫は、窃盗の機会の継続中に行わなければなりません。窃盗と暴行の間に密接な関連性…… ⇒「 なりません 」と「 窃盗と暴行 」の間に、句点(「。」)が入ります。

158 頁 ワンポイント教養 刑事訴訟法 17 【緊急逮捕できる罪名】	
● 図表中の、緊急逮捕できない罪名の例につき誤植	
誤	軽犯罪法違反の罪 単純逃走罪 殺人予備罪 ……
正	軽犯罪法違反の罪 殺人予備罪 …… ⇒単純逃走罪を削除します。

以上